

SDGs 達成に向けた宣言書(要件1)

令和 5年 6月 22日

住 所 松山市山越4-5-8
 企業名 ダイキンエアテクノ株式会社四国支店
 代表者 四国支店支店長 宮下 博臣

当社は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs 達成に向けた経営方針等

| | | | |
|--|--|--|--|
| <p>ダイキンエアテクノは、省エネエンジニアリングのリーディングカンパニーとして、「“心地よさ”を顧客・社会に提供する」を経営理念に、お客様が求める全ての省エネ等のニーズに対応すること、地球環境負荷の少ない空調システムを実現し、お客様の期待を超える提案を行うことで“心地よさ”の提供することでお客様と共にサステナブルな社会の実現に貢献できる会社を目指しています。</p> <p>社員の一人一人がこれを自覚し、それぞれの役割を果たしていくことにより、積極的にSDGs 推進に積極的に貢献し、社会・環境とともに持続的な成長を目指します。</p> | | | |
|--|--|--|--|

| 3側面 (主な分野に○) | SDGs 達成に向けた 重点的な取組み | 2030 年に向けた 指標 | 重点的な取組及び 指標の進捗状況 登録年月日:R4年7月8日 |
|-----------------|---|--|---|
| 環境 社会 経済 | ZEB・ウェルネスビル提供等の空調環境の整備・省エネ推進による環境負荷低減を目指す | <ul style="list-style-type: none"> 省エネ補助(ZEB 等)の活用支援による省エネ推進 補助金申請支援 5件/年 | 補助金申請支援 8件 (採択 5件) 環境省 SHIFT 補助金 2件、環境省換気設備 2件、環境省省 CO2 1件、国交省 3件 |
| 環境 社会 経済 | ダイバーシティを尊重し、働き方改革を進め雇用と技術で地域に貢献する | <ul style="list-style-type: none"> フレックスタイム制の有効活用による長時間労働の削減(3%削減) 有給休暇取得推進制度(5連続有給休暇・アニバーサリー休暇)による有休取得率 75%以上 | フレックスタイム制活用人数 24人 時間外労働時間 2022 22,013.5h 前年比 101.9% ※大型物件増による増加。 一般社員有休休暇取得率 66.2% ※コロナに備え、取得数減少 |
| 環境 社会 経済 | 健全な企業基盤と適切な企業統治により「品質の向上・継続」、「環境配慮・環境教育の推進」を図り継続的な企業価値の向上を目指す | <ul style="list-style-type: none"> 全社員の Eco 検定取得 省エネ環境セミナー(エコテック)を開催し、省エネ取組を支援 地域清掃活動の実施 1回/月 | 社員(四国支店)の取得率 96.8% ※対象者 94名、合格者 91名 省エネ環境セミナー 3回実施 <ul style="list-style-type: none"> 6/29 実施 18社 23人参加 9/16 実施 5社 7人参加 10/28 実施 5社 5人参加 地域清掃活動 毎月下旬頃実施 |

【記載留意点】

- ・上記については「SDGs 達成に向けた経営方針等」を記載いただくとともに、(様式第3号)「SDGs 達成に向けた具体的な取組」(要件2)に記載いただいた取組を踏まえ、「SDGs 達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は、原則として数値目標を記載してください。
- ・「環境」、「社会」、「経済」の3側面の全てについて重点的な取組を記載してください。なお取組が複数の分野にまたがる場合は、それぞれの分野に「○」をしてください。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、新規登録時は記入不要です。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、年1回以上進捗管理を行い、状況を記載してください。